

# 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

本年は元旦より晴天に恵まれ穏やかな年の始めとなりました。そよ風パーク、虹の通潤館、清和文楽館、通潤山荘、各キャンプ場等観光施設にも年末年始に町内外からの多くの来訪者で大変な賑わいを見せていました。町内各神社とも多くの町民の方々が今年一年の安寧を願いお参りされていらっしゃいました。私も今年一年が災害等のない平穏な一年となることを祈念するとともに、町の更なる発展に全力を尽くすことを改めて決意したところです。

特に今年は、九州中央自動車道矢部IC（仮称）開通を見据えたグラウンドデザインの中で、体育館・グラウンドゴルフ場を含む町営グラウンド周辺整備及び道の駅周辺整備に、スピード感を持って全力で取り組みます。

また、九州中央自動車道整備事業では、昨年9月に矢部蘇陽間の計画段階評価に着手されました。概略ルートや構造等を検討する作業が進められており、事業化へ向けて着実に前進しているところであります。すでに計画段階評価が完了し

ている蘇陽五ヶ瀬間を含め、今後とも熊本県や関係市町村と連携し、国に対しての整備要望をさらに強化してまいります。

他にも移住定住対策として山都テラスを整備し区画を販売していますが、7戸の住宅が建ち始めております。また熊本地震の折、県内各地に建設された木造仮設住宅を移築し、老朽化の進んでいる町営住宅の建替・集約を進めます。

熊本地震から3年8か月が経過するなか、熊本地震による農地等災害復旧工事については、被災者の皆様に大変ご迷惑をおかけしていることにお詫び申し上げます。町内・郡内・県内の建設業界のご協力や、熊本県への工事の委託を進め、農水省とも協議し、今年度中の入札業務完了、来年度中の全ての工事の完成を目指して参ります。

復旧工事中の通潤橋も4月には放水が出来るよう急ピッチで作業を進めております。山都町の観光拠点が復活することにより観光客の増加を期待し、周辺整備・造り物小屋の建設にも取り組んで参ります。

12月16日、私が会長を務めております山都町社会福祉協議会へ、

老人会蘇陽支部より1円玉募金で集まった27万4千円を寄贈頂きました。会員の方が1年間コツコツと貯められた貴重な想いの賜物に感謝し、大切に使用させていただきます。安永支部長のお話では20数年間続いている活動との事です。この活動が山都町全体に広がることを願っています。

1月4日に山都町成人式が清和文楽館で開催され、98名が出席し、大人の仲間入りをされました。家族や地域、恩師、仲間への感謝の気持ちと、仲間を交通事故で失った悲しい思いを二度と失いたくないという「交通安全」への熱いメッセージに感涙しました。素晴らしい式典に、実行委員会メンバーのご尽力に感謝します。多くの新成人の方々は勉強や仕事のために山都町外で生活されていますが、多くの事にチャレンジし、山都町の現状、将来の姿を外からの目線で見ていただき、近い将来における山都町での活躍を期待しています。

さて、本年は東京オリンピック。パラリンピックの年です。本町出身の山下JOC会長から「30個の金メダル獲得を目指します。山都町民の皆さまへ宜しくお伝えください。

山都町での活躍を期待しています。さて、本年は東京オリンピック。パラリンピックの年です。本町出身の山下JOC会長から「30個の金メダル獲得を目指します。山都町民の皆さまへ宜しくお伝えください。

山都町の皆様、新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には町議会に対し日ごろから温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

天皇陛下のご即位に伴い「令和」へと改元されて初めてとなる新年の幕開けです。町民の皆様にとりまして、一層清冽な心持ちで新年をお迎えになった事と存じます。

振り返ってみますと、昨年は日本全体においても、また私たちの生活においても、厳しい局面を多く迎えた一年だったのではないかと思います。

9月から10月にかけての大型台風の度重なる来襲は、いまだ地震の爪痕を残す東日本を含めた日本各地で土砂崩れ、河川氾濫などの甚大な被害をもたらしました。

厚労省の勤労統計調査や、金融庁のいわゆる「老後資金2000万円」報告書の問題、また公金を使った行事の在り方についても批判が高まり、国民の行政に対する不信感がこれまでになくあらわになった一年でもありました。また、消費税が10%となったことで家計支出への影響を肌で感じている町民の方も多いことでしょう。

こうしたことから、町民お一人おひとりからの負託を受けて活動

する我々議員も、「山都町に住んでよかった」と心から実感できる町づくりのために「今この時」に何をなすべきか、改めて考えずにはいられません。前例踏襲ではなく、いかに建設的で生産的な議論を議場から巻き起こし、山都町の「風」に変えていけるか、そのようないで政策の一つ一つを検証しているところです。

そのような中、本町に初めて開通した九州中央自動車道は、私たちにとって未来につながる一筋の光のようでありました。山都中島西インターチェンジの利用により、熊本市へのアクセスが随分と楽になったという声を多くいただいております。現在、矢部、蘇陽間への延長も事業化に向けて着々と進捗しており、可能な限り早期の供用開始を目指し、強い働きかけを行っていきたくと考えております。本町は有機農業の発祥の地ですが、有機無農薬野菜を各方面へお届けし、そのおいしさと食の安心、安全をアピールするのにも重要な役割を果たすことになり、大いに期待しています。

また、今年はいよいよ東京オリンピック開催の年です。山都町の誇りである山下泰裕さんが、昨年JOC（日本オリンピック委員会）会長に就任されま

した。昨年の大河ドラマ「いだてん」は、1964年東京オリンピックを題材とし、日本マラソンの父である熊本県和水町出身の金栗四三氏が主人公の一人として描かれました。56年ぶりの東京開催となるオリンピックに日本中の期待が高まっています。山下会長を中心に、ぜひ大会を成功に導いてほしいと思いますし、山都町民の一人としてできる限りの協力をしたいと考えております。また、スポーツということでは、町民の皆様がスポーツ及び健康増進の拠点施設となる総合体育館の建設に向けて、議会でも協議を進めております。

冒頭申し上げましたとおり、様々に情報があふれる現代だからこそ、「今、山都町に住む」ということの価値をより一層高め、何より現在、山都町において暮らしを営まれている皆様が一番にその価値を実感していただけるまちづくりをこれからも推進してまいります。

ぜひ本年も、お近くの議員に皆様の声をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

結びに、この新しい年が町民の皆様にとりまして実り多き年となりますことを心よりご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

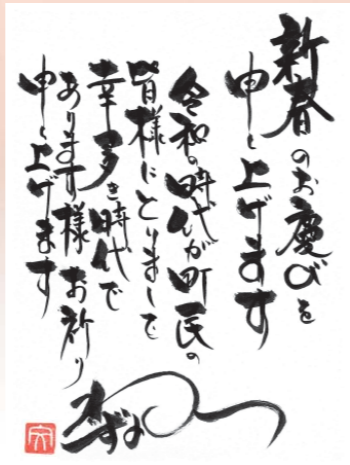
結びに、この新しい年が町民の皆様にとりまして実り多き年となりますことを心よりご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



山都町長 梅田 穰

さい。」と東京熊本県人会の席でお話をいただきました。町民の皆さんと一緒に大会の大成功を祈りたいと思います。

最後に、皆さまにとりまして、本年が素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。



山都町議会議長 工藤 文範

